

令和4年度

宇都宮大学共同教育学部私費外国人留学生選抜 試験問題

小論文

共同教育学部学校教育教員養成課程 芸術・生活・健康系 家政分野

令和4年1月25日(火)

9:00~10:00

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には、1問題(3つの設問)がある。乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には申し出ること。
4. 解答用紙は2枚ある。解答は必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。所定の欄以外に記入したものは無効である。

問題 次の文章は、認定 NPO 法人 Teach for Japan が実施した、フェロー(教員)8 期候補生に対する集合研修に関するブログ記事です。これを読み、以下の設問に答えなさい。

SDGs とは？

SDGs は Sustainable Development Goals の略で、「持続可能な開発目標」を意味します。SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標であり、2000 年に策定・2015 年まで開発分野における国際社会共通の目標として掲げられていた「ミレニアム開発目標 (MDGs: Millenium Development Goals)」の後継として、世界中で目標達成のための取り組みがなされています。



(参照元：2030 アジェンダ | 国際連合広報センター)

上の図にもあるように、SDGs は 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っており、発展途上国だけでなく先進国も主体的に取り組む必要がある、全世界的なユニバーサル (普遍的) なものであると掲げられています。

なぜ SDGs は大事なのか？

前述の通り、SDGs は①包括的なアプローチが必要な国際的に定められた目標です。17 のゴールは一つ一つが独立しているというよりも、それぞれが関連し合う相互接続的な目標となっております。SDGs は理想や遠い未来の目標ではなく、現実的な、②喫緊の課題に挑むために今を生きる私たちが必要な目標です。SDGs のキーワードとして、「Transforming our world (我々の世界を変革する)」という言葉があります。このキーワードには、今の世界のあり方を変えなければならないという強いメッセージが含まれています。

ビジネスにおいても、お金儲けのために活動している企業ではなく「環境 (environment)・社会 (social)・企業統治 (governance)」の 3 つを③配慮している企業を重視・選択して投資をする ESG 投資が④浸透・拡大してきています。

また教育においても、「試験のために学ぶ」「お金のために働く」という考えから、「未来をつくるために学ぶ」「未来をつくるために働く」という考え方を教えるために、SDGs の目標や取り組みを関連付けることができるでしょう。

このように、⑤SDGs は環境だけでなく、社会、経済と様々な要素を持ち、様々な分野において取り入れることが求められています。

学校現場でSDGsを活用するには？

学習指導要領の改訂に伴い、各教科において教科書の様々な箇所でもSDGsについて触れられています。しかし現状として、学校現場ではSDGsについて子どもたちに教えたくても、詳しく教えることができるリソースがない、どのように取り入れればよいのかわからないという課題や悩みを抱えていることも多々あります。

そんな課題を解決するために、学校現場はThink the EarthのようなNPOや企業の様々なSDGsに関するコンテンツやプログラムを活用することができます。また企業側としても、学校現場で活用してもらうことでSDGsを導入することができるというアピールができるため双方にとってメリットがあります。

企業のプログラムが学校現場で活用されている例として、講師の上田さんはユニクロ・ジーユーが行っている「届けよう、服のチカラプロジェクト」を紹介してくださいました。

(中略)

SDGsを活用した授業の活動を作る

SDGsに関する研修の後半ではグループに分かれ、②授業でどのようにSDGsを取り入れることができるかを考えてみました。

17のゴールの中からいくつかのゴールに着目して各教科の授業に生かそうとするグループもあれば、SDGsのコンセプトを生徒が理解できるような活動を考えているグループもありました。学んだことをすぐに⑤実践に取り入れるためのグループワークができることも、Teach For Japanの研修の魅力の1つです。

また参加者の中からは、小学校低学年の子どもなどにSDGsを教えることでこれからの社会には課題がたくさんあると思わせることになっていいのかという質問も挙がりました。この質問に対して講師の上田さんは、SDGsを教えるというよりは部分的に教えたり、取り入れたりすることで、子どもたちがSDGsの意味を理解できるようにすることが大切だと回答されていました。

(引用：<https://teachforjapan.org/entry/training/2019/10/26/sdgs-kenshu-gakkou/>より抜粋・一部改変)

問1 文中の①から⑤の単語の読み方と意味を答えなさい。

問2 文中の下線(1)のような概念を実現する教育手法として ESD の重要性が示されていますが、ESD とはどのような教育であるかを 100 字以内で簡潔に述べなさい。

問3 文中の下線(2)について、家庭科教育に SDGs を取り入れた授業例を考え、600 字以内で述べなさい。